

日本証券新聞社 主催

個人投資家向け IRセミナー



コスモ・バイオ株式会社

(証券コード: **3386**)

2016年9月7日

www.cosmobio.co.jp



目次

- 1. 会社概要** **p. 3**
- 2. 事業内容と特徴** **p. 7**
- 3. 2016年の取り組み** **p.19**
- 4. 2Q決算概要及び期末業績予想** **p.25**

1. 会社概要

www.cosmobio.co.jp

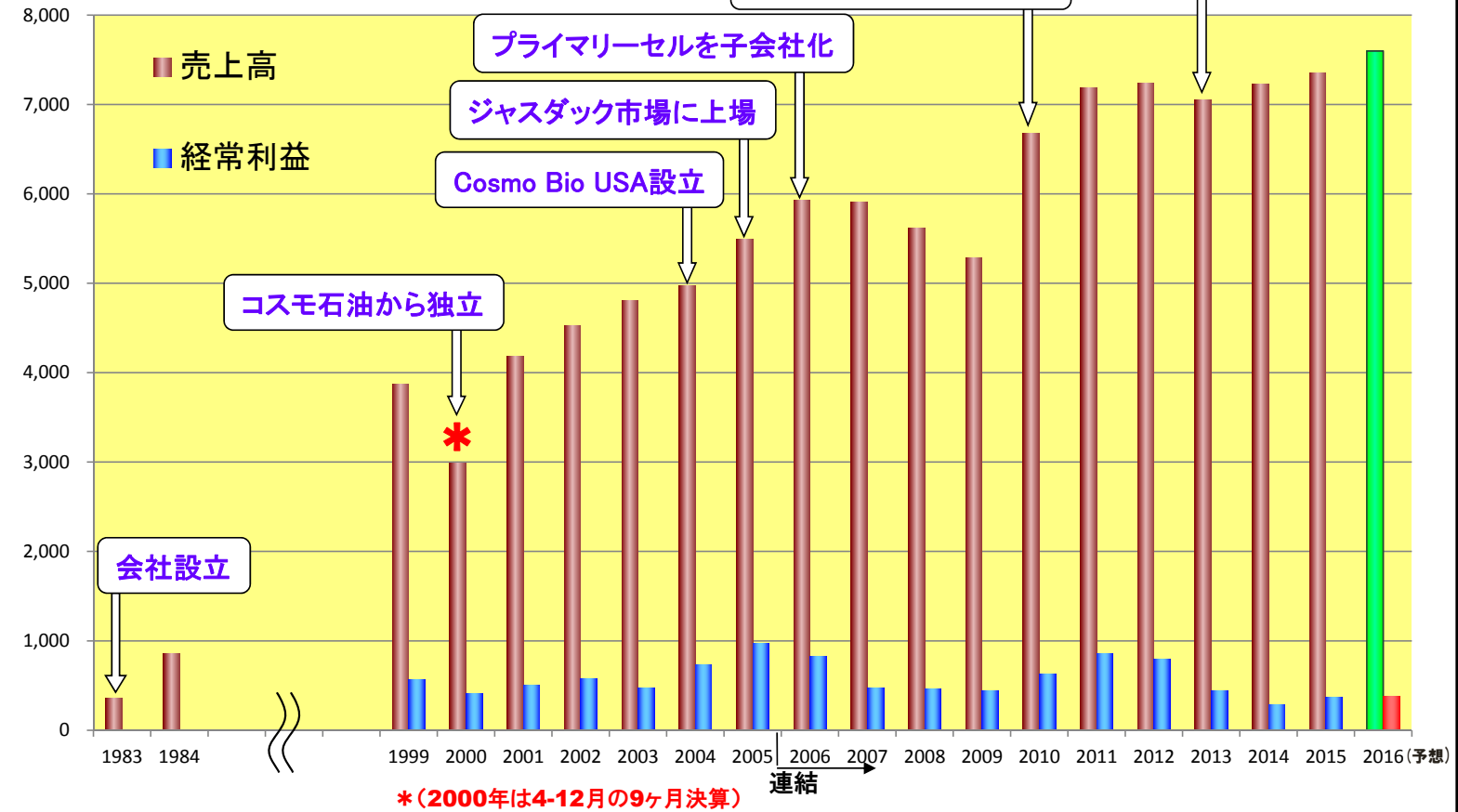
会社概要

社名:	コスモ・バイオ株式会社
業種:	卸売業
上場市場:	東京証券取引所 JASDAQ
コード:	3386
本社所在地:	東京都江東区東陽二丁目 2番20号
代表者:	代表取締役社長 櫻井 治久
設立:	1983年8月25日
事業内容:	ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、臨床検査薬の仕入れ(一部自社製造)及び国内・海外販売
資本金:	918百万円
事業年度:	1月1日から12月31日まで
従業員数:	連結:121名 個別:94名 (2016年6月30日現在)
連結子会社:	ビーエム機器株式会社
非連結子会社:	Cosmo Bio USA, Inc.

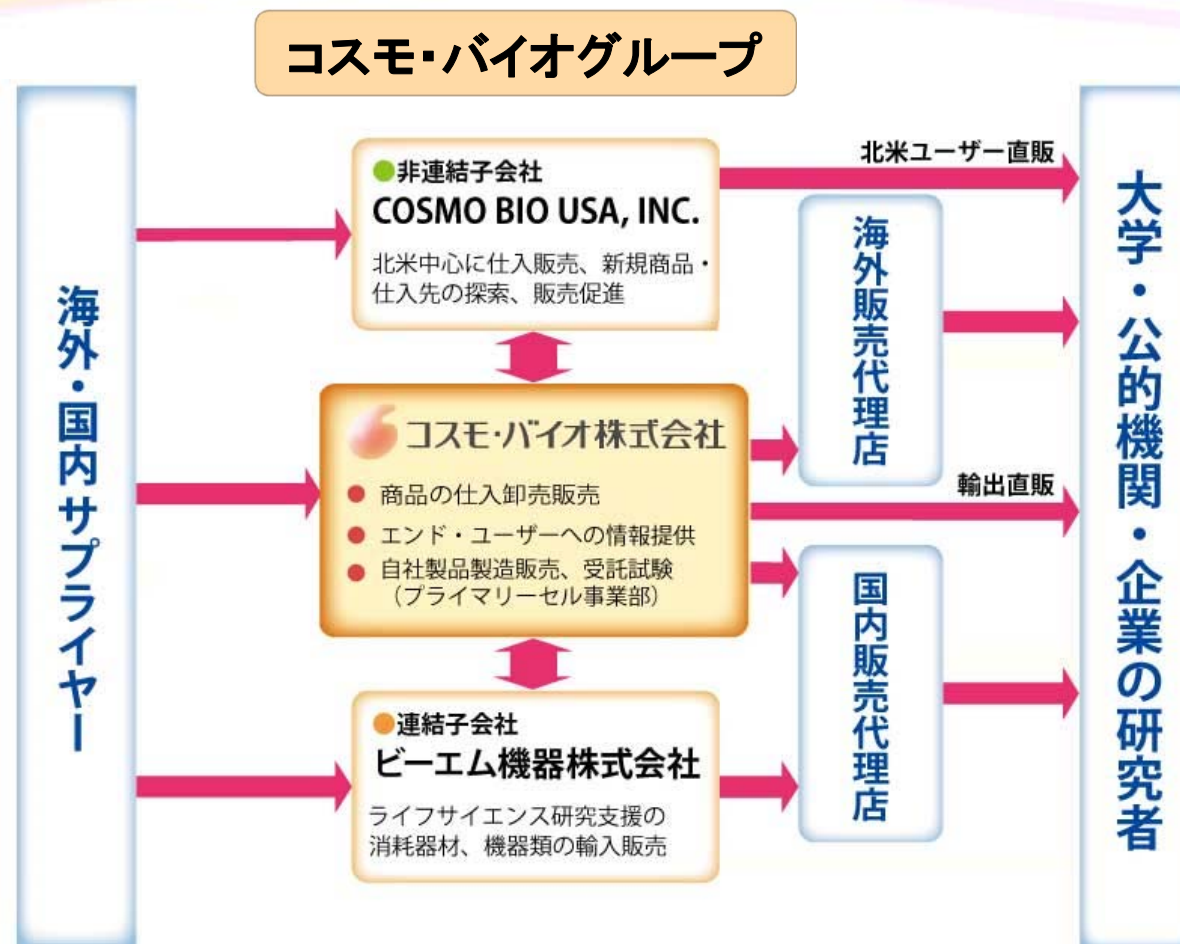


当社の歩み

売上高(百万円)



事業内容およびグループ経営体制



2. 事業内容と特徴

www.cosmobio.co.jp

コスモ・バイオは何をしている会社？

ライフサイエンス研究



•ライフサイエンス研究は...
医療分野だけでなく、
私たちの生活を支える
経済や社会の発展にも
大きく役立っています。

コスモ・バイオは
研究に必要な
薬品(=試薬)や
実験道具(=機器、消
耗品)を
世界各国から種類豊富に取り揃えて、ライフサイエンス
研究を支援しています。

取扱商品の一例

試薬

培地、緩衝液など

機器

試薬

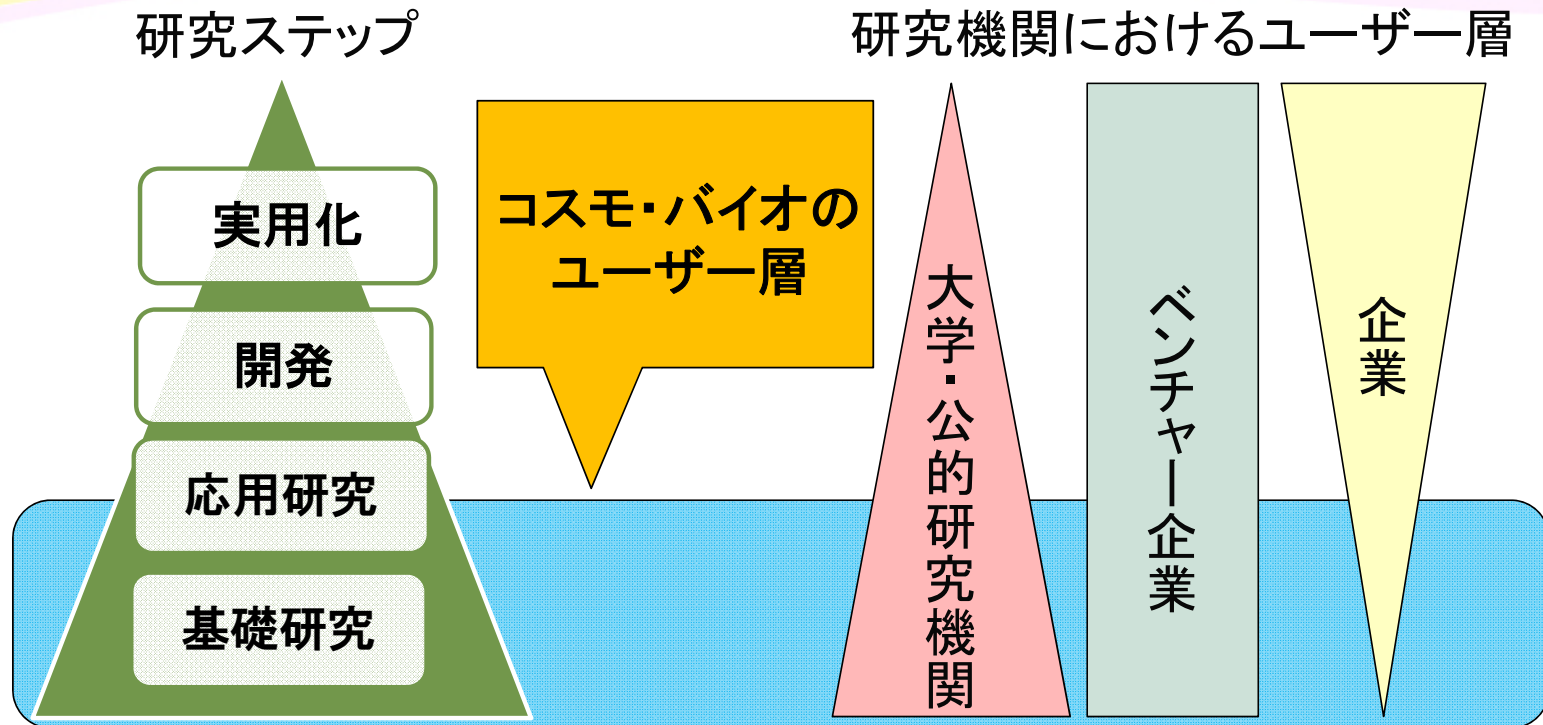
キット(試薬セット)

試薬

小型実験機器

抗体・生理活性物質など

ライフサイエンス研究とユーザー層



ライフサイエンスの技術が実用化されるまでにはとても長い年月がかかります。
コスモ・バイオはその第一歩、「基礎研究」及び「応用研究(一部)」を行う
研究者向けに研究用試薬の販売や受託サービスの提供をしています。

ユーザー層と市場規模

大学

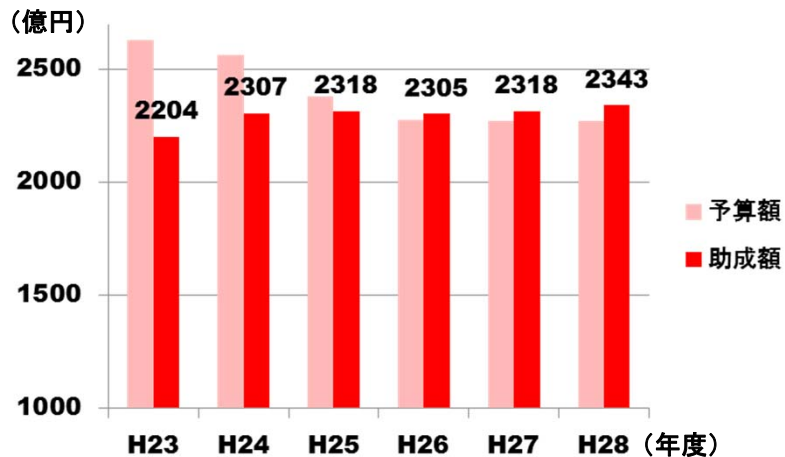
公的研究機関

- 国から提供される
 - 運営交付金
 - 競争的資金(例:文部科学省の科研費)などの資金をもとに研究活動を行う。

企業

- 各企業の事業計画や開発プランなどに基づき、**基礎研究にどのくらい「投資」するか**の予算が組まれ、その資金をもとに研究活動を行う。

科研費の予算額・助成額の推移



研究用試薬の市場規模 約1000億円*

- ◆ 競合会社 ◆
 - ・ 海外企業の日本法人
 - ・ 国内大手企業の子会社
 - ・ 商社

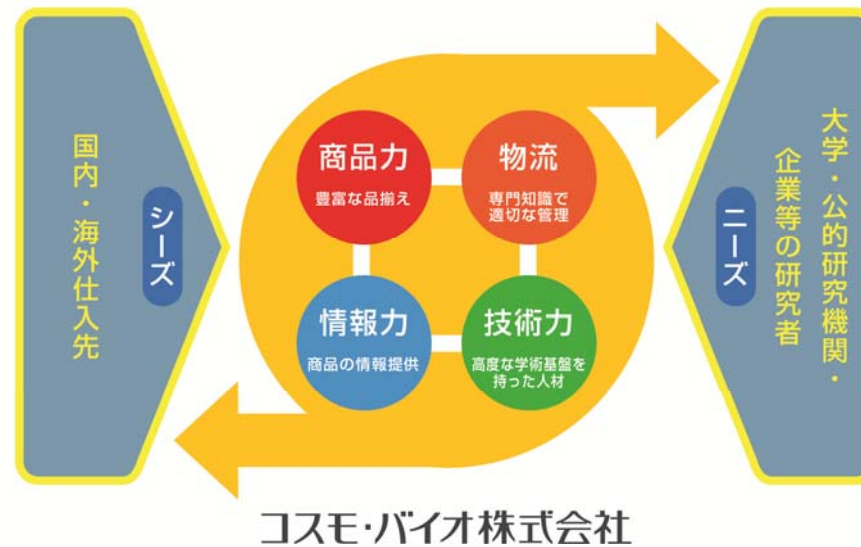
* 当社調べ

当社の強み

商品・情報(シーズ)と多様なユーザーニーズとのマッチング

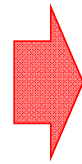
研究者が求める専門的で高度なニーズに対応するために、
専門性の高い人材とノウハウを蓄積し、膨大な商品情報(シーズ)と
多様なニーズとのマッチングに努め、研究活動をバックアップ

ニーズとシーズのマッチング



商品力 約1300万品の豊富な品揃え

豊富な品揃え、
その理由は？



- ・ 膨大な基礎研究 & ひとりひとり異なる実験
- ・ 核酸やタンパク質などの膨大な生体試料を対象とした様々な試薬
- ・ 生命現象を研究するための多様な視点からのアプローチ

新しい商品・サービスの
導入、開発



- ・ 「最先端の研究手法(商品・サービス)の提供」
→ 研究時間の短縮、新たな発見
- ・ 「欲しい商品がない」
→ 商品の探索や自社による開発・製造

コスモ・バイオに
聞けば何でもある



なければ
探してくれる

なければ
作ってくれる

物流

グローバルネットワーク

人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社

約600社の仕入網



約30拠点の海外販売網



約200拠点の国内代理店網



コスモ・バイオ株式会社

情報力 商品情報提供ツール・活動

各種商品情報提供ツール



ニュースレター



各種カタログ



ホームページ/商品検索システム/ 各種法規制対応



セミナー・展示会

Q.なぜ、自社品開発？

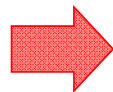


- ・コーポレートブランドの浸透
- ・研究者の声から、独自の技術による試薬開発
- ・M&Aなどによる仕入先消失のリスク回避

自社ブランド商品数:約7万品



Q.どうやって開発？



- ・当社開発部門にて商品開発
→2013年7月に子会社(株)プライマリーセル(札幌市)を吸収合併し、自社の研究・開発・製造部門として一体運用を開始。
- ・研究者のノウハウや知的財産を活かして商品化
→**涙液ムチン測定キット**(2016年3月発売)

自社開発事例



涙液ムチン測定キット

技術力 自社開発事例 涙液ムチン測定キット

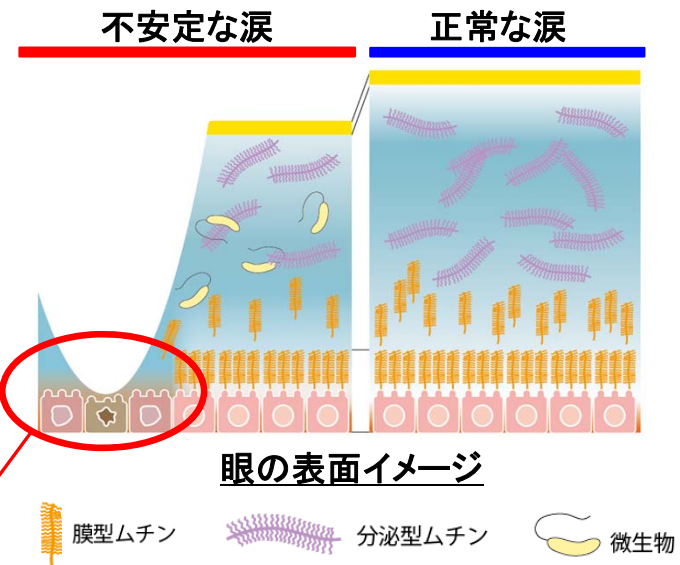
ドライアイとは？

→涙の量が減る「**量的な異常**」、涙の性質が変化する「**質的な異常**」からくる目の表面の健康が損なわれる病気。

従来、「**質的な異常**」の測定には、涙液中の**ムチン**という物質の濃度を測定していましたが、測定には時間がかかっており、データもばらついていました。



当社にて、時間を**半分以下**に短縮し、**安定した実験データ**が得られる製品を開発。大学、製薬会社、食品会社等の基礎研究の現場で使用されています。



CSR活動

- 当社では「ライフサイエンスの進歩・発展に貢献する」ことを会社の理念に掲げており、次の世代を担う“明日の科学者”の応援をCSR活動の一環として行っています。
- はこだて国際科学祭(8月20日～28日) “消化管体験ツアー”に協賛しました。



消化管体験ツアーの子供用トンネル



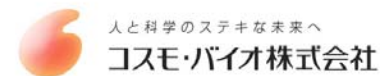
当日の様子

写真提供：消化管体験ツアー実行委員会

3. 2016年の取り組み

www.cosmobio.co.jp

コスモ・バイオが目指す会社



ライフサイエンス研究の
最新情報を常にウォッチ

代理店とのつながり強化で
研究者を迅速サポート

信頼される研究支援会社としての
さらなる成長

独自の技術を用いた
サービス・製品の提供・開発

新規性の高い商品の
探索・販売

2014年からの取り組み(3ヶ年計画)

「信頼される研究支援会社として成長する」

顧客満足度の追求

研究動向にあった商品・サービスの導入、製品開発の強化、顧客の求める情報提供の充実

業容の拡大

販売、商品開発、業務効率化・強化のための投資
仕入先との関係強化・提携等の推進

経営基盤の安定化

株主資本、経営資本の安定、事業リスクの低減化（仕入先M&A、
為替、法規制等のリスク）

2016年の課題

中期経営計画最終年度であり、ビジョンである「信頼される研究支援会社として成長する」のために、中期経営計画の基本施策を継続実行し、以下の重点目標に取り組む。



重点目標

- ▶ 市場低迷・円安環境での収益伸長
- ▶ グループ間での連携強化
- ▶ 新たなビジネスモデルへの投資

2016年の重点目標

市場低迷・円安環境での収益伸長

- ① 営業活動の強化
営業体制を見直し、営業の効率化と優良顧客への密着度を向上。
- ② 利益性を考慮した仕入および販売
受託系サービスの売上が前年に引続き好調を維持。
- ③ 輸出売上のアップ
Webリニューアル後、訪問数の増加もあり、売上は二桁増。

2016年の重点目標

グループ間での連携強化

①取扱い商品の整理

2月に、グループ全体での販売強化の一環として、主要機器を含む機器・消耗材関連商品メーカーの一部取扱いを、子会社であるビーエム機器株式会社へ移管。また、今回の移管にともない、当社物流センターの一部相互利用を開始。

②管理系業務の見直し

ビーエム機器株式会社の管理業務の一部を当社が受託。

新たなビジネスモデルへの投資

NEDO（新エネルギー・産業技術総合開発機構）の平成28年度「中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業」に採択される。

テーマ：「鶏卵バイオリクターを用いた組換えヒト サイトカイン 試薬製造」



4. 2Q決算概要及び期末業績予想

www.cosmobio.co.jp

2Q 連結業績ハイライト(前年同期比)

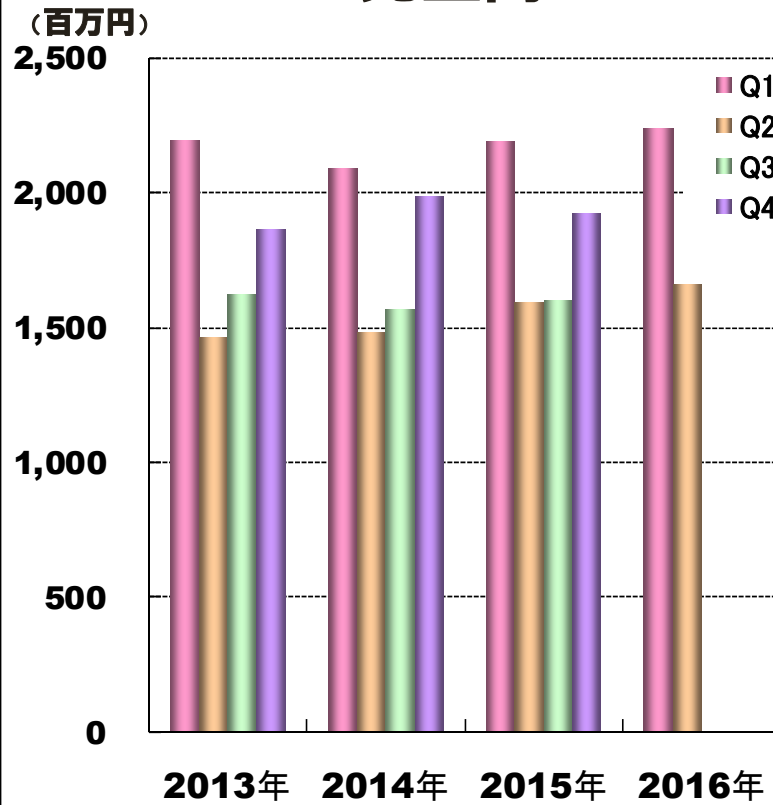
(単位:百万円)

	2015年 第2四半期累計	2016年 第2四半期累計	増減額	増減率
売上高	3,833	3,983	149	3.9%
売上総利益	1,220	1,432	212	17.4%
営業利益	158	362	203	127.9%
経常利益	258	367	108	41.9%
親会社株主に 帰属する 純利益	145	257	111	77.1%

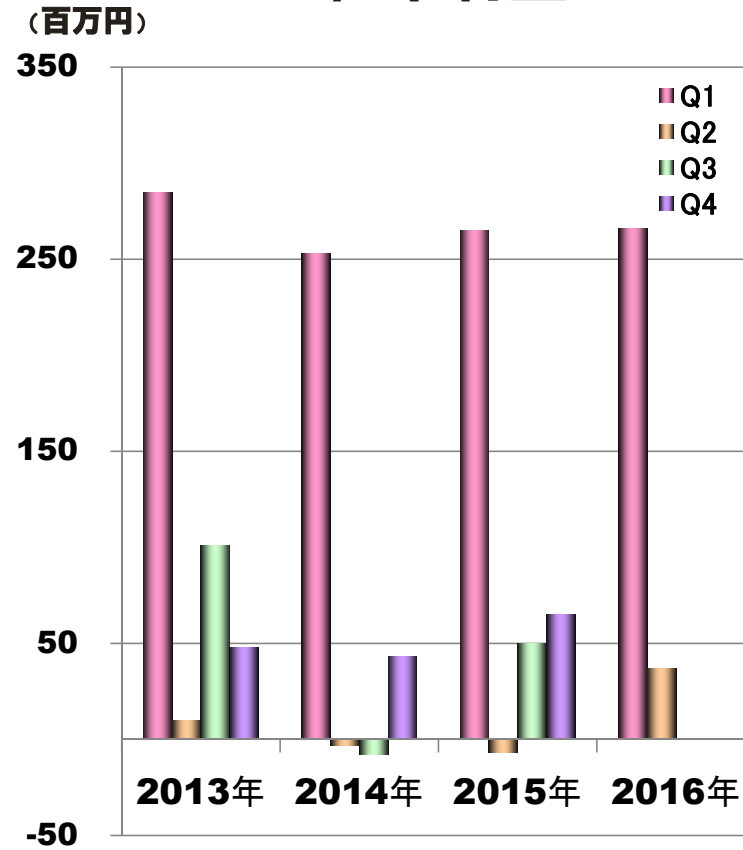
	2015年12月末	2016年6月末	増減額
総資産	7,790	7,803	13
純資産	6,378	6,442	64

四半期別動向(売上高、経常利益)

売上高



経常利益



2016年12月期の連結業績見通し

(単位:百万円)

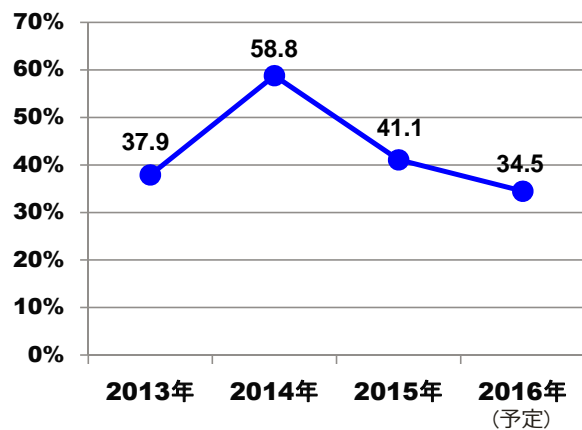
	15/12月期 実績	16/12月期 当初予想	16/12月期 修正予想	対前年比	
				増減額	増減率
売上高	7,357	7,750	7,600	242	3.3%
営業利益	200	120	400	199	99.3%
経常利益	373	220	380	6	1.7%
親会社株主に帰属 する純利益	230	120	240	9	4.1%
売上高経常利益率	5.1%	2.8%	5.0%	—	—

平均為替レート	15/12月期 実績	16/12月期通期 当初予想	16/12月期下期 修正予想
円/USドル	121円	125円	110円

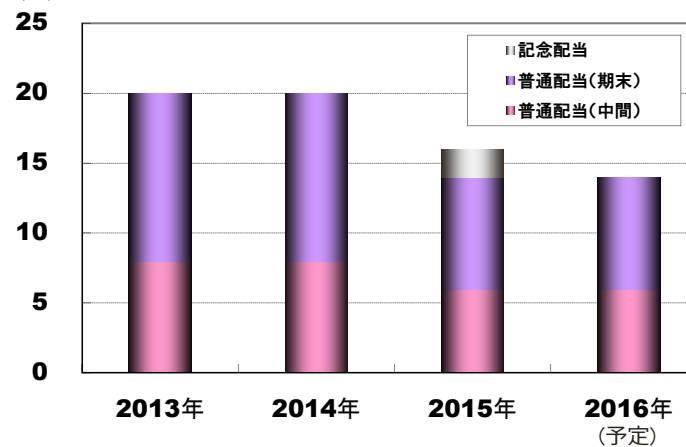
配当について

	1株当たり配当額		
	中間	期末	合計
2016年 12月期	6円	8円(予定)	14円(予定)
2015年 12月期	6円	10円 記念配当2円含む	16円
2014年 12月期	8円	12円	20円
2013年 12月期	8円	12円	20円

連結配当性向



(円)



ご注意

- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。

《IRに関するお問い合わせ先》
コスモ・バイオ株式会社 経営企画室
ir-contact@cosmobio.co.jp

当社IRサイト
<http://www.cosmobio.co.jp/ir>

参考資料

主な連結経営指標等の推移

	2011年 平成23年	2012年 平成24年	2013年 平成25年	2014年 平成26年	2015年 平成27年
売上高(百万円)	7,192	7,241	7,050	7,235	7,357
経常利益(百万円)	856	801	444	285	373
当期純利益(百万円)	458	411	313	201	230
純資産額(百万円)	5,343	5,720	6,797	6,532	6,378
総資産額(百万円)	6,734	6,955	8,277	8,161	7,790
1株当たり純資産額(円)*	822.10	882.27	1,064.59	1,020.56	1,003.87
1株当たり当期純利益(円)*	76.52	69.44	52.82	34.02	38.89
自己資本利益率(%)	9.7	8.1	5.4	3.3	3.8
総資産経常利益率(%)	13.3	11.7	5.8	3.5	4.7
株価収益率(倍)**	7.5	16.6	45.4	43.9	27.6
株価純資産倍率(倍)**	0.70	1.31	2.25	1.65	1.15
配当金額(単体)(円)	2,000	2,000	20	20	16
配当性向(連結)(%)	26.1	28.8	37.9	58.8	41.1
純資産配当率(連結)(%)	2.5	2.3	2.1	1.9	1.6

* 2013年1月に1株につき100株の株式分割を行ったことに伴い、1株当たり純資産、1株当たり当期純利益を遡及修正しています

** 株価は12月期の末日終値

参考資料

株価推移(2015年8月3日~2016年8月30日)

